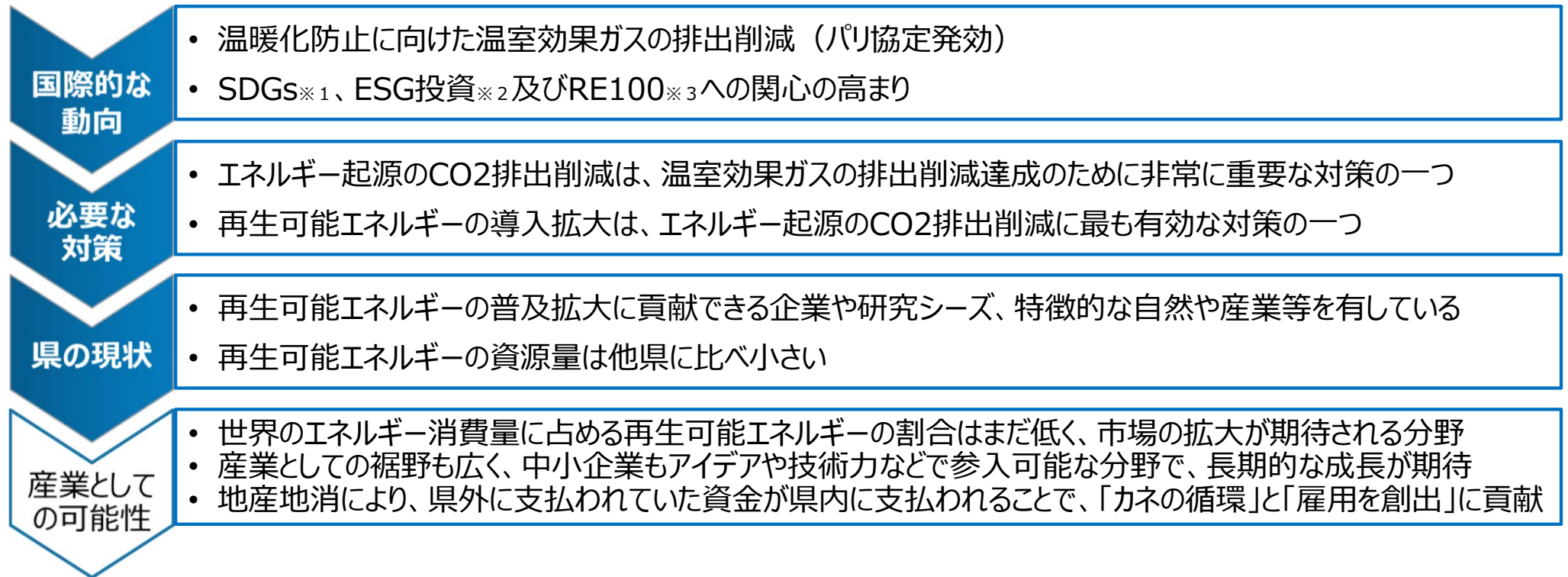


佐賀県再生可能エネルギー等先進県実現化構想 概要版

平成30年3月

佐賀県

県として取り組む意義



県内にある技術・研究シーズ等を活かし、県内外の再生可能エネルギー導入拡大を通じてエネルギー起源CO2の排出削減に貢献していくことは、環境と産業振興の両面からメリットがある

※1 2016年から2030年までの「持続可能な世界実現のための17のゴール（Sustainable Development Goals）」（2015年9月に国連サミットにて採択）

※2 環境（Environment）、社会（Social）及び統治（Governance）に対する企業の対応を考慮して投資先を決定

※3 事業に必要なエネルギーの100%を再生可能エネルギーでまかなうことを目標とする国際イニシアティブ（Renewable Energy 100%）

目指す姿

県内発や県にゆかりある **人・企業・技術・製品**等で

日本・世界の再生可能エネルギー等の普及拡大に貢献

効果

- > 日本・世界のエネルギー起源CO2排出削減への貢献
- > 県内産業の活性化・競争力向上
- > 県内でのカネの循環・雇用の創出

手法

- > 県内のリソース・特性を活用し、先進的なモデルを創出
- > 創出したモデルを、県内・県外・世界へと展開
- > 地域資源の活用と地域内消費（地産地消）

取組方針と具体的な取組の例

取組方針	県にあるリソース（例）	具体的な取組（例）
<p>先行する再エネを更に拡大</p>	<ul style="list-style-type: none"> 良質な電力インフラ 佐賀水素ステーションの立地条件 	<ul style="list-style-type: none"> 水素・EV充電・熱等による電力調整システム構築
<p>多様な再エネ資源の活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> 国の実証フィールド選定 佐賀大学の研究シーズ 小水力発電関連企業 	<ul style="list-style-type: none"> 海洋再生可能エネルギーの推進 小水力発電事業モデルの構築
	<ul style="list-style-type: none"> 佐賀大学の研究シーズ 佐賀市による廃食用油の高品位燃料化の取組 	<ul style="list-style-type: none"> 太陽熱、低位熱（地中熱、下水熱）等の活用モデル構築 廃食用油の高品位燃料化
<p>再エネ以外のCO2削減手段検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> 重油・石炭の産業利用 	<ul style="list-style-type: none"> 石油・石炭からガス燃料への転換
	<ul style="list-style-type: none"> 県内企業による製品開発事例 	<ul style="list-style-type: none"> 県内企業が開発した省エネ製品のトライアル購入
<p>海外への展開検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> 佐賀NGOネットワークの人的ネットワーク 佐賀大学の研究シーズ 	<ul style="list-style-type: none"> 県内のNGOと連携して発展途上国のニーズ等を発掘し事業モデルの創出を検討